

# KGAニュース '85秋季号



第36回関東オープン(飯能GC)

## 目次

クラブ運営は「以和為貴」	1	昭和60年度関東ジュニアゴルフ選手権競技	14
東谷 傳次郎		ルールQ & A	17
昭和60年度関東オープンゴルフ選手権競技	4	日本ゴルフ協会、規則委員会判例	
関東オープン観戦記 杉山 通敬		理事会・委員会	19
昭和60年度夏季ジュニアゴルフ教室	10	月例成績表(昭和60年7月・8月)	21
昭和60年度関東俱楽部対抗決勝競技	11	コースレート、お知らせ	22

No.12

## 理事長インタビュー

## クラブ運営は「以和為貴」

飯能ゴルフクラブ理事長 東谷傳次郎氏

聞き手・KGA広報委員 杉山 通敬



——開場（正式オープンは昭和35年10月28日）以来の理事長として、心がけてこられたことはどういうことでしょうか。

「昭和50年、ちょうど開場15周年のときに記念碑を建てたのですが、その碑に私は〈以和為貴〉という聖徳太子の言葉を書いたわけです。和を以て貴しと為す、これがわたしの一貫したゴルフに対する気持ちですね。会して議せずでは困りますが、どういうことでも皆んなで話し合うのはよいことだと思います。専制君主をつくらんためにも、よく話し合い、納得のいく結論を出していくようにしてきたつもりです。ですから、理事会は毎月1回開いていますし、9つある委員会も年に5回ほど会合をもっています。わたしは、そのいずれにも出ています。ま、委員会などは出れば煙たがれるかもしれませんか、やはりそういうことが問題になっているのか、わざなりに知りておきたいと思いますのでね」

——飯能GCは株式会員制なのですが、会社と理事会の関係はどういうかたちになっているのですか。例えば会則のようなものにその関係が成文化されているのでしょうか。

「ええ、クラブ規則の第3条にちゃんとあります。〈本クラブ理事会はクラブ運営の基本方針並びに予算その他重要事項を審議決定し本公司がこれを執行する〉こうなっているんですね。理事会で決定したことを会社が執行する。実は昭和33年、最初にゴルフ場建設のはなし가ち上ったときには、社団法人組織でやろうと思ったわけです。ところが文部省のほうでゴルフクラブは公益法人として認めない方針だった。ま、いろいろな問題があったのでしょうか、32年のカナダカップ優勝後、雨後の筈のようにゴルフ場建設ラッシュがあり、建設にからむ不正事件も

かなりあったようですね。わたしは会計検査院（院長）を辞めて間もないころで、はたしてやっていいものかどうか（ゴルフ場建設を）、考えたのですが、西原才治さんははじめ、さかんに推めてくれたのですからやることにしたわけです。で、社団法人がダメなら、それに準ずるかたちにしようということで株式会員制にしたのです。クラブと会社が表裏一体となるような運営をしていけば、実体は社団法人のクラブとかわらないのではないか、と」

——クラブと会社が表裏一体になるための具体的な方策はどういうふうに進めているのですか。

「常務理事会（理事長、副理事長と常務理事4人）は6人で構成されておりまして、ここでまずいろいろなことを討議するわけです。そして、合同会議というのがあるんです。クラブの理事と会社の取締役

## 理事長インタビュー

が一緒になって会議するところです。ちょうど、国会と政府みたいな関係ですよ



——立法府と行政府が一緒になったようなものなのですね。

「そういうことです。ただ、あくまでも会員主体の考え方で進めていく。社団法人のクラブとかわりないと思ってます。ですから、利益をあげる必要はないわけですね。えらい赤字を出しちゃまずいですが、収支ゼロか、ちょっと黒字、ちょっと赤字、そのくらいのところでいいわけで、儲った分はコースを良くしたり、ハウス周辺の整備をしたりして、会員に還元していくべきだと思います」

——年間来場者はどのくらいですか。

「4万5千人前後で、2万人が会員、2万5千人がビジターといったところでしょう。従業員の給与・賞与、コース維持費、税金などで年間約9億かかりますから、どうしてもビジターを入れることになるわけですが、そのことで会員がプレーできなくなるということはないです。いつも来ていただいてもプレーできますよ、と言っているのですが、年間で2万人（月平均1,666人、一日平均60人）ですからね、会員だけだとガラ空きです。空いているのならビジターにも施設を利用してもらい、その金で年間支出分のものをまかなおう。そうすれば会員の負担も軽く

なるではないか。そういう考え方です」

——東谷さんは理事長であると同時に株式会社の社長でもあるわけですか。

「ええ。なんでも合議制でやるようにしていますし、気持ちは自分も一人の会員にすぎないと思っていますから、あまり堅苦しく考えてません。和を以て貴しと為す、ですよ。相手の意見を、相手の気持ちになって、よく聞く。ゴルフと同じですよ」

——ところで、関東オープンのことですが、フェアウェイを狭くしたり、ラフを深くしたりで、開催直前のころは会員の方から文句が出ませんでしたか。

「いや、これもクラブで決めたことですからね。コース委員会のはうでいろいろ検討した結果、ゴルフ場の“あるべき姿”とはどういうものであるかを煮つめ、それがKGAからの注文とぴったり合ったわけです。ですから、関東オープンを開くために、フェアウェイを狭くしたり、ラフを深くしたわけではない。ゴルフコースとはどういうものであるかを、改めて検討した結果、そうなったんです。ま、ラフはもう少し、短く刈ることになるでしょうが、フェアウェイの幅はこのままにするつもりです。プロの試合のために、そうしたわけではないのですからね。“あるべき姿”を煮つめた結果、こうなったのですから。いや、わたしはゴルフはうまくないです。ですから、やさしくしたほうが個人的には楽ですけど、そういうことじゃありませんからね」



——“あるべき姿”というのとは具体的には、どういうことだとお考えですか。

「正確なショットをすれば次打のアドバンテイジが得られ、悪いショットをすればペナルティされる、

そういうことじゃないですか。今までが“そうなかった”『昭和10年ごろには多少やっていましたけど、会計検査院という地味な役所に勤めていましたから、やったといっても、やったうちにははいりませんよ』——失礼ですが、何歳になられましたか。

「明治27年、西暦でいえば1894年の12月ですから、こんどの誕生日で満91歳になります。もう、前世紀の遺物ですよ（笑）。大正10年に役所に入って、昭和32年8月に辞め、それからここでしょう。どっちも長いんです。出身ですか？広島です。親父は百姓をやらせたかったらしいですが、ボクはいやでね。若いころはいろいろ苦労しましたよ。あなたら、知らんでしょうが、昔は専門学校入学者検定試験というのがあって、中学にいかなかつたものを試験して資格をくれた。中学5年間の教課を全部やるんですから、むずかしかったですよ。それに通って四高（金沢）から東大、そして会計検査院、役人あがりですから、派手なことはできませんでね。ずっと、和を以て貴しと為すでやってきましたから、これからも同じ気持ちでやっていきますよ」



細川理事長と東谷敏能G.C.理事長。

# 競技

## 昭和60年度関東オープンゴルフ選手権競技

●期日 9月5日(木)～9月8日(日) ●コース 飯能ゴルフクラブ ●参加者 アマチュア 39名 プロ106名 合計 145名

### 関東オープン観戦記

杉山 通敬

#### ★データが物語る勝者の軌跡



「ヤッタヨ！」と喜ぶ金井選手。

優勝インタビューで金井清一は開口一番、こう言った。

「1年かかりて敵を取った」

昨年、中島常幸に負けた雪辱を1年かかって遂げたというわけである。中島自身もラウンドの途中で金井に告白したそうである。1年越してやられたね、と。曾我十郎・五郎の兄弟は18年余りの辛苦の末、



金井プロの優勝をたたえる、中島プロ。「おめでとう…」

工藤祐経の首を討ち取って父の仇討ちを果したのだが、それほどの執念はないにしても、金井には期するところがあったのだろう。

金井がどういう配慮で「1年かかりの敵」を取るか、興味をもって最終日、最終組について回った。組合せは金井、中島、川田時志春で、ともに7アンダー。3者のプレーぶりは別表にあるとおりである。この表をつくりながら、なるほど、勝者には勝者にふさわしい軌跡があるもの。敗者には敗者ならではの苦戦の跡があるもの、と改めて感じた。次にあげる数字はその表から割り出した三者のフェアウェイキープ率とパーオン率である。

	キープ率 (ティショット)	パーオン率
金井	64.2%	77.7%
川田	71.4%	55.5%
中島	14.2%	50.0%



賞金を細川理事長より受けとりギャラリーに応える金井選手。

金井はショートホールを除いた14ホールで、9回フェアウェイをとらえ、左ラフに3回、右ラフに2回、打ち込んでいる。5回打ち込んだラフにしても、3回はセミラフだ。狭いフェアウェイのことを考慮すれば、セミラフもフェアウェイのうちといってよいだろうから、そのことを勘定に入れると実に85.7%のキープ率である。しかも、ショートホールは全てワンオン、6番と16番ではバーディーを取っている。

それにひきかえ、中島は14ホール中、フェアウェイをキープしたのはたったの2回。ヘビーラフを通り越して、林の中に打ち込んだのが4回。6番まで

はドライバー・ショットがことごとく左へ曲り、7番以後は全て右へ曲げていた。

川田は3番のショートホールでダブルボギーを叩いたことが、大きな躊躇になり、金井を追ううえで負担になった。14ホール中、フェアウェイをキープしたのが10ホール。8番で左の林に入れ、セカンドでフックをかけたのだが、これも左のラフに入れ、致命的なボギーを出したのだが、この2ホール以外は比較的安定したゴルフぶりだった。

金井のプレーで特に印象がかったのは、ティショットもセカンドショットも、ただの1回も左へ曲るボールを打たなかったことである。左ラフへ打ち込んだショットにしても、左を狙いながらフェードのかかり方が少なく、ストレートに飛んだものである。ショートホールの攻め方も、すべてフェード系のボールだった。15番のティショットのあと、身を左へくねらせつつ、こりや、大変なことになった、と叫びながら右へ飛んだボールの行方を追っていた



プロに混じって4日間健闘、ベストアマの大友選手。(塩原)

が、行ってみればセミラフに止っていた。

毎年のことながら今年も、ラフを制すもの、関東オープンを制す、という展開になったと言つてもよい。いや“制す”というよりは、ラフを“避ける”と言つたほうがよいだろう。最終日の3人のスコアを分析すると、金井は41ショット、27パットの68。川田は43ショット、30パットの73、中島は47ショット

〈関東オープン最終日、最終組のスコア詳報表〉

ホール	メートル	バーティカル	金井 清一					川田 時志春					中島 常幸						
			1打	2打	3打	バット	スコア	1打	2打	3打	バット	スコア	1打	2打	3打	4打	5打	バット	スコア
1	387	4	F右	左B	ON	1	4	F.C	ON		2	4	左R	GオクR	ON			2	5△
2	469	5	F	左R	ON	1	4○	F左	F	ON	2	5	左R	左R	ON			1	4○
3	206	3	左へON	左へON		2	3	左前B	オクへON		3	5▲	左オクB	ON				2	4△
4	361	4	F.C	左へON		1	3○	F.C	左へON		2	4	F左	右へON				2	4
5	321	4	左R	左へON		2	4	F.C	左へON		2	4	左R	左へON				3	5△
6	153	3	右上ON	左R	ON	1	2○	左R	ON		1	3	左オクON					2	3
7	390	4	F左	G前H.R	右へON	1	4	F.C	右へON		2	4	右R	F出しだけON				2	5△
8	386	4	F.C	G右H.R	右へON	2	5△	左林	左R	左へON	2	5△	右R	左へON				2	4
9	467	5	F右	F.C	左へON	2	5	左R	F.C	ON	1	4○	右R	左R	GオバーバーON		1	5	
10	371	4	左S.R	左へON		2	4	F.C	右へON		2	4	右林	右R木に当るG右R	ON			1	6▲
11	394	4	F左	左へON		2	4	F.C	左へON		2	4	右林	右R木に当るG右R	ON			1	4
12	162	3	左へON			2	3	G前R	ON		1	3	右R	GオクR	ON			2	5▲
13	388	4	F.C	G前R	上へON	2	5△	左S.R	GオクR	ON	2	4△	右林	ON				2	4
14	445	5	F右	左R	上へON	1	4○	F.C	右前B	ON	1	4○	右R	G右B	ON			2	5
15	405	4	S.R	G右R	上へON	1	4	F右	左前R	ON	1	4	F右	右へON				2	4
16	179	3	右S.R	右上ON		1	2○	左へON			2	3	右R	花道	ON			2	3
17	531	5	右S.R	右R	左上ON	2	5	F.C	右R	ON	1	4○	右林	左R	ON			1	5
18	300	4	F.C	ピント下	左R	1	4○	左R	GオクR	ON	1	4	F前R	上へON				2	4
合計			6315	72	18	14	9	27	68	18	17	8	30	73	18	16	9	3	1
																			79

\*Fはフェアウェイ、Rはラフ、Bはバンカー、S.Rはセミラフ、H.Rはヘビーラフ、F.Cはフェアウェイセンター、Gはグリーンの略。

○印はバーディ、△はボギー、▲はダブルボギー。



おまわりさん。スタート表を見て公務観戦…?



湯原プロのサイン。

ト、32パットの79である。当然のことながら、金井はショット、パットともに最少ストロークでおさめた。41ショットのうち、ラフからは9、バンカーからは1。

これに対し、川田はラフから10、バンカーから3。中島はラフから19、バンカーから1である。中島のパワーをもってしても、ラフを“制す”ことはできなかつたのである。ラフに入れた分だけパーオン率が悪く、スコアを崩した大きな要因になった。川田はラフとバンカーから合せて13回（金井は10回）打ったわけだが、その分だけペーディの数が金井にくらべ少なかつた（ペーディ数、金井6、川田3）。

こう見えてくると、数字はまことに正直である。好打にはそれなりのアドバンテイジを、失打にはそれなりのペナルティを、というゴルフの原則が今年の関東オープンでは見事に生かされたと言つてもよい。開催コース、飯能ゴルフクラブのコース委員を初めとする役員メンバー、またグリーンキーパー以下、コース管理者のみなみならぬ努力のあとが、3選手のスコアデータからもはつきりとうかがえたのである。



ギャラリー。

### ★日に10トンもの散水でコースを整備

このリポートを書くにあたつて、後日、飯能ゴルフクラブのグリーンキーパー、野口保さんに電話を入れ、苦心のほどを訊ねた。以下はその一問一答である。

——フェアウェイの幅は平均どのくらいだったのでですか。

「22mから23mです。極端に狭いとは思いませんが、樹木が育っていますから、ティに立つと狭く感じるのでしょうか。選手のなかには、打つてみると、ティで感じるほど狭くないという意見を言うひともいました」

——ラフの長さは？

「セミラフが60mmで幅は2m。ヘビーラフは林の中も含めて100mmでした。8月7日から伸ばし始めましたが、グリーン回り（100mm）などはスプリンクラーの水が行き過ぎすぎて、ところどころ伸びすぎたので、そういうところは3回ほど刈りましたね」

——グリーンの刈り高は、どのくらいでしたか？

「練習日が3.2mm。予選の2日間は3.1mmのダブルカット。土曜日も3.1mm、日曜日は3mmのそれぞれダブルカットです。実は決勝は2日間とも3mmに刈る予定をたてていたのですが、金曜日に雷雨があったもので、土曜日に刈り込むのをひかえました」



最終18Hのギャラリー達。

——今年の夏は日照りつづきで、芝の管理にはご苦労が多かったでしょうね。散水は日にどのくらいやりましたか？

「日によってちがいますが、50トンから100トン。日照りのときにはやりますと、根腐れの心配がありますから、なるべく涼しい時間に散水しました。それだけ水をやつても乾燥がひどかったんですから、芝がこわかつたよう思います。その分、ラフからのショットはむずかしかったんじゃないですかね」

——ヘビーラフからのショットはグリーンに乗せずらかったようです。

「うちのグリーンは小さいですから、ラフから直接グリーンに乗せればスピニの関係でランが多くなつてオーバーチャウシょうし、かといって、手前からコロガし上げるにはグリーン手前のラフに食われてしまうでしょうし……」

——それにひきえ、フェアウェイから打ったボールはよく止っていましたね。やはり、ラフに入れたボールには0.5ストロークのペナルティがはつきりと課せられているのが分りました。バーを取るのに必死で、下手をするとボギーになる。そういうセッティングになつているように思いました。

「別に選手に意地悪をするつもりは毛頭なかったのですが、結果的にはナイスショットには次打が有利になるように、ルートを外れたショットにはその分次打がやっかいになるように、そういうゴルフの原則は生かされたように思います」

——実は試合当日、東谷理事長にお会いしていろいろとお伺いしたのですが、ゴルフの“あるべき姿”を創り出したいと言っておられました。で、野口さ

んとしては、どのくらいの優勝スコアを予想していましたか。

「1日2アンダーブツで、8アンダーぐらいではないかと思ってましたね」

——優勝した金井選手も同じような見方をしていました。ま、結果的には彼だけとび抜けて11アンダーまでいらっしゃいましたけども、2位以下のスコアを見ると、やはり8アンダーで勝ててましたもの。

「そうですね。その点、こちらのたてた目安にたいした狂いはなかったわけで、ひと安心しています」

——ところで、コース管理のうえでもっともご苦労なさった点はどういうところですか。

「やはり、芝の病気です。ごらんになってお分かりだったと思いますが、芝の色がまだらになったところがありましたでしょう。“ほこり茸”という白い茸が群生したあとです。これを退治する方策がまだないんですね。一応、薬はありますけど、やりすぎると芝を痛めますからそう使うえない。かといって、放っておけばそこらじゅうにはびこるわけです」

——それは病気なんですか。

「フェアリー・リングスという一種の病気です。ひどくなると土と替えなければならなくなります」

——なるほど、茸は自生物ですから、ルール上ではそのまま打たなければならない。フェアウェイといわず、ラフといわず、白い茸があっちこっちに出て、その中にボールが入ったら、ちょっと困った問題が起きたかもしれませんね。

「夏の終り、秋の初め、ちょうどトーナメントのあったころに出やすいんです。ですからコース巡回で見つけ次第、駆除したわけですが、見落しがありますか？」

本当にご苦労さまでした。芝も生きものだから病気にもかかる。“のど”も乾く。かなり“蒲柳の質”だともきく。野口さんは、きっと、可愛い子を育てるようなつもりで、芝を見守り、健康管理したのであろう。

金井優勝の軌跡の後には、そうした裏方さん達のご苦労もあったことを加えておかねばなるまい。彼は1年がかりで中島を“仇”討ちしたのだけれど、裏方さん達は1年がかりでその仇討ちの場を整えてくれたわけである。

# 競技

## 昭和60年度関東オープンゴルフ選手権競技成績表

参加者 145名 9月5日(木)～9月8日(日) 於：飯能ゴルフクラブ

順位	氏 名	所 属	第1ラウンド		第2ラウンド		第3ラウンド		第4ラウンド		合計	
			アウト	イン	アウト	イン	アウト	イン	アウト	イン		
優勝	金井清一	ダイワ精工	38	32	70	34	35	69	34	36	70	277
2	川田時志春	フリーア	33	37	70	36	34	70	35	34	69	282
3	長谷川勝治	船橋	38	35	73	37	35	72	36	34	70	284
4	藤木三郎	合同酒精	34	34	68	36	37	73	37	37	74	284
5	尾崎健夫	日東興業	31	37	68	34	38	72	36	38	74	286
6	新井規矩雄	アデランス	34	36	70	35	38	73	38	36	74	287
7	尾崎直道	日東興業	35	35	70	34	35	69	39	36	75	288
7	小林富士夫	真美名	34	35	69	38	38	76	35	37	72	288
7	中島常幸	美津濃	36	37	73	32	34	66	36	34	70	288
7	矢部昭	アリガゴルフ	38	37	75	39	36	75	34	32	66	288
7	入野太	富士鶴開発	36	38	74	35	35	70	38	35	73	288
12	尾崎将司	日東興業	37	38	75	35	38	73	33	35	68	289
12	古木謙二	フリーア	37	38	75	37	32	69	34	37	71	289
14	青木功	日本電建	38	32	70	40	35	75	36	36	72	290
14	牧野裕裕	メルボルン服	33	37	70	38	37	75	37	36	73	290
14	牧合肇	日東興業	36	36	72	37	37	74	35	36	71	290
17	湯原信光	S B 食品	37	38	75	39	36	75	35	35	70	291
17	久保田孝	東富士	37	36	73	38	37	75	34	36	70	291
17	中島秀徳	越生	37	39	76	37	36	73	33	34	67	291
20	蘿原南雄	鹿野山	38	36	74	34	36	70	37	36	73	292
20	芹沢信雄	富士平原	36	34	70	35	34	69	39	37	76	292
20	岩下吉久	藤沢	40	35	75	36	38	74	35	37	72	292
20	青木公也	大利根	38	37	75	38	33	71	36	35	71	292
20	南田敏哉	博輝	36	37	73	35	35	70	36	35	71	292
20	*大友和雄	塙	39	35	74	36	38	74	36	36	72	292
26	青木基馬	マルマン	36	38	74	38	37	75	35	37	72	293
26	草壁政治	紫	37	33	70	36	42	78	37	36	73	293
26	謝敏	鳳凰	32	38	70	37	34	71	37	39	76	293
26	中村南	箱根	37	37	74	37	37	74	35	41	76	293
26	並木俊明	フリーア	36	36	72	37	35	72	36	39	75	293
26	橋本和夫	フミリー・谷	39	36	75	36	37	73	34	37	71	293
26	須藤昇	風	38	35	73	32	37	69	39	40	79	293
33	白浜郁雄	南箱根	38	32	70	38	35	73	38	39	77	294
33	鈴木弘	美野原	38	35	73	38	35	73	40	34	74	294
33	森	川崎国際	34	38	72	38	38	76	35	36	71	294
36	安田春雄	フリーア	38	37	75	35	37	72	40	36	76	295
36	村上隆	種産住	39	39	78	33	37	70	36	37	73	295
36	川俣茂	ヤマ商物産	37	36	73	37	38	75	33	38	71	295
36	山下千里	チェックメイト	36	38	74	34	35	69	36	38	74	295
36	箱崎博一	新千葉	38	35	73	35	38	73	37	39	76	295
36	川村正	皆川城	36	37	73	35	37	72	36	41	77	296
42	町野正治	皆川城	34	36	70	35	35	70	39	40	79	296
42	土山録志	八王子クリーン	38	34	72	37	37	74	40	36	76	296
42	白浜敏	フリーア	39	35	74	38	38	76	34	34	68	296
42	泉川ビート	ヨネックス	37	39	76	35	36	71	37	36	73	296
42	堀内工	フリーア	36	36	72	37	39	76	38	42	80	296
47	渡辺由己	我孫子	40	37	77	34	39	73	37	37	74	297
47	平林孝一	よみうり	39	37	76	35	39	74	37	35	72	297
47	栗原孝	武藏	35	37	72	38	36	74	35	40	75	297
50	棚網通隆	中津川	35	37	72	38	40	78	36	37	73	298
50	文山義夫	カネダ企画	36	37	73	38	36	74	37	39	75	298
50	船渡川育宏	南部富士	36	36	72	37	35	72	35	40	75	298
53	中田好彦	富士見ヶ丘	35	39	74	36	37	73	38	38	76	300
53	石田咲雄	千葉ガーデン	36	34	70	37	39	76	40	40	80	300
55	井岡誠	蘿之台	38	37	75	36	38	74	39	39	78	301

順位	氏 名	所 属	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			アウト	イン	計										
55	佐野修一	東松山	37	36	73	36	39	75	37	39	76	41	36	77	301
55	滝安史	富士ロイヤル	36	40	76	39	35	74	41	37	78	40	33	73	301
55	*米山剛	烏山城	38	36	74	34	40	74	37	34	71	40	42	82	301
59	河野和重	程ヶ谷	40	35	75	37	38	75	35	38	73	40	39	79	302
60	沼沢聖一	千代田T	36	38	74	36	38	74	39	41	80	38	37	75	303
60	岩間建二郎	オリムピックS	38	41	79	35	36	71	39	40	79	37	37	74	303
60	*原聰雄	東名厚木	39	41	80	35	35	70	36	42	78	38	37	75	303
63	菊川秀喜	鶴舞	37	38	75	36	35	71	41	39	80	38	41	79	305
63	*加藤雄二	ノーザン赤城	38	39	77	35	34	69	38	43	81	40	38	78	305
63	鈴木彰	朝霧	36	36	72	37	37	74	42	40	82	38	39	77	305
67	月岡健治	紫雲	35	39	74	40	36	76	40	36	76	40	41	81	307
67	石井富男	五浦庭園	38	37	75	36	39	75	43	39	82	38	37	75	307
69	会田信介	高根	37	36	73	36	39	75	41	44	85	34	42	76	309
(以上決勝進出者)															

氏 名	所 属	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
		アウト	イン	計										
種野勇男	紫雲	37	39	76	39	36	75	39	37	75	41	41	81	157
松井功	美津濃	38	37	75	36	40	76	36	38	74	40	37	77	157
*五十嵐唯	東京五日市	36	41	77	36	38	74	37	39	75	41	41	80	157
磯崎功	都留	37	39	76	36	39	75	37	39	75	41	41	82	157
新聞善美	フリーア	38	37	75	35	41	76	36	37	75	41	41	81	157
若木進一	習志野・空港	38	37	75	36	40	76	37	38	75	41	40	83	158
石井昇	井原	37	36	73	41	38	79	37	37	74	40	40	81	158
*河上亮司	廣済堂埼玉	37	36	73	41	38	79	37	37	74	41	40	81	159
*渡辺元嗣	富士田チサン	39	39	78	35	39	74	37	39	75	41	40	81	159
森下正美	プラチナ工芸	39	38	77	38	36	76	37	38	75	42	41	83	159
地引日出男	北川透	37	42	79	36	38	74	37	37	74	43	42	81	159
*大竹徹	高根	37	37	74	37	37	74	37	37	74	41	41	82	160
海老原清治	翠華樓	36	37	73	40	40	80	39	38	77	41	41	80	160
*中野弘	美	37	35	72	36	35	71	36	37	74	40	40	81	160
矢口享造	フォレスト	40	35	75	41	38	79	37	37	74	43	40	83	161
海老原勇臣	常葉	37	38	75	41	38	79							

## 昭和60年度夏季ジュニアゴルフ教室

- 期日 8月19日 ●場所 桜ヶ丘カントリークラブ ●参加者 61名
- 期日 8月23日 ●場所 東京ゴルフ俱楽部 ●参加者 56名
- 期日 8月26日 ●場所 ノーザンカントリークラブ錦ヶ原コース ●参加者 88名

ジュニア教育の一環として関東ゴルフ連盟が主催する夏季ジュニア・ゴルフ教室は、今年も8月19日に桜ヶ丘カントリークラブ、8月23日には東京ゴルフ俱楽部で開催された。参加者は桜ヶ丘が男子52名と女子9名、東京が男子53名の女子3名といずれも前年度より増加しており、ジュニア委員と、プロ協会より派遣された指導プロの熱心なレッスンを受けた後、セルフ・バッグで1ラウンドのラウンド・レッスンを行ったが、猛暑の中にもかかわらず、ジュニア達はそれでももの足りない表情だった。長野県からジュニアに付添って来たという父親が「5,000円でこんな良いコースで、しかも一流プロの指導も受けられるとは全然知らなかった。今後のジュニア教室のスケジュールは是非知らせてほしい」としきり



肩にはバッグ、手には自土袋。女子もセルフで厳しく仕込まれる。



思い思いにバッグを放り出し、バットに夢中なジュニア達(於・東京)



大きなお姉さん方にまじり、短いバタードで競争する小学校4年生。つい気になつて委員もつきっきり。



桜ヶ丘の練習場でスタート前の仕上げに励む女子ジュニア達、委員も適切なアドバイスをやっていた。



端から順に一人々々をしていよいよレッスンしてゆく 錦田プロ。(東京ゴルフ俱楽部練習場)

## 競技

### 昭和60年度関東倶楽部対抗決勝競技

- 期日 7月1日(月) ●コース 鶴舞カントリー倶楽部 ●参加者 30チーム 240名

こしの関東倶楽部対抗決勝競技は、あいにく台風6号の通過とぶつかってしまった。前日は朝から台風の前触れの豪雨に見舞われて会場になる鶴舞カントリークラブのコースは、バンカーは水没し、フェアウェーには時ならぬ川が現出して、せっかくの日曜日を早々とクローズしたほど。その後も雨は次第に強まるばかりで、夜中には台風が関東地方に上陸、本格的な暴風雨となって競技開催も危ぶまれるような状態だった。

しかし、荒れ狂った台風も午前7時頃になって分厚い雲の切れ間に青空がのぞきはじめ、風もややおさまってきたので、なんとか競技開催の見通しはついたものの、それからが大変、あちこちの土砂くずれ等で通行止となつた道路もあり、キャディーや従業員がなかなか出揃わない。しかも出場チームの中でも養老溪谷に宿泊した3チームが道路不通で未到着という有様、このため競技開始を1時間遅らせ、9時スタートに変更された。

この間、クラブ側は支配人以下総出でコースの補修に走り廻った。バンカーの砂が流され、コース内のあちこちで樹木が根こそぎ吹き倒されたため、倒木を邪魔にならないように片づけたり、バンカー等の応急整備にかかったのである。

こうして競技は9時からスタートした。台風の余波はまだまだ残り、強い風がゴルフを一層難かしくしていたが、台風が遠去するとともに風も弱まり、天候も回復してクラブ対抗も俄然熱がこもった。

トップ争いは毎年の常連が顔を並べた。強風のために全体的にスコアは低調だったが、その中でも前年度優勝の千葉カントリークラブをはじめ、昭和58年度優勝の袖ヶ浦、57年度の横浜、55年度のセントラルなどの強豪チームのせり合いとなった。特に前年、僅か2ストローク差で2位に甘んじた袖ヶ浦と、連勝を狙う千葉とは、互いに相手チームのスコアを意識し合い、激しくせり合った。

各チームの応援団が忙がしいのもクラブ対抗ならではのこと。自分のチームの情報を集めては他クラブのスコアと比較し、時には選手にハッパをかける



スコア・ボードを見る選手、応援団。

伝令を飛ばしたりと、競技が終りに近づくに連れてクラブ・ハウスのまわりもせわしくなり、またいろいろな情報も流れ飛んだ。

結果、Aクラスで傍島輝雄の76ストローク、Bクラスで加藤一彦の72ストロークとそれぞれのクラスのメダリストを出した千葉カントリークラブがチーム・トータルで468ストローク、これに対する袖ヶ浦カントリークラブはBクラスで水沢純一が72ストロークでメダリストに輝く健斗をしたが、頼みの切札と期待された阪田哲男が75ストロークと意外に振わなかつたのが誤算で、チーム・トータルは470ストローク、またまた昨年に引続いて2ストローク差の2位。

千葉カントリークラブはこの倶楽部対抗で2連勝6度目の優勝をとげたが、この連続優勝は昭和40年の相模原ゴルフクラブ・チーム以来、実に20年振りのこと。倶楽部対抗の参加チーム総数が205チームとふくれ上った現在では、各チームの実力も伯仲して来ており、この中の2連勝は至難のこと、まさに貴重な2連勝だった。



2年連続優勝の千葉C.C. Vサインでニッコリの選手団。

# 競技

## 昭和60年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

(昭和60年7月1日(月) 鶴舞カントリークラブ)

### 優勝 千葉カントリークラブ 得点468

氏名	アウト	イン	合計	順位
傍島輝雄	38	38	76	
今井健	43	46	89	
鎌谷俊雄	37	41	78	
清水雄次	38	46	84	
加藤一彦	34	38	72	
長谷川一弘	44	40	84	
斎村ヨシオ	41	42	83	
竹林隆光	37	38	75	

### 6位 東名カントリークラブ 得点488

氏名	アウト	イン	合計	順位
伊藤浩秋	46	45	91	
安藤功	39	39	78	
石川一	42	43	85	
伊藤孝	39	45	84	
加藤剛男	38	37	75	
高橋春美	39	46	85	
高田安和	40	48	88	
室伏建二	40	41	81	

### 2位 袖ヶ浦カントリークラブ 得点470

氏名	アウト	イン	合計	順位
野本俊夫	40	41	81	
森辺尚	46	45	91	
山野辺邦夫	41	40	81	
阪田哲男	39	36	75	
佐久間徹	42	47	89	
水沢純一	35	37	72	
鈴木重治	39	44	83	

### 7位 水戸ゴルフクラブ 得点492

氏名	アウト	イン	合計	順位
酒井信	43	41	84	
田口善三郎	42	41	83	
根本致知	48	47	95	
根本太満	36	42	78	
中村清	39	40	79	
打越守	41	45	86	
平沢良雄	42	41	83	

### 3位 セントラルゴルフクラブ 得点484

氏名	アウト	イン	合計	順位
山本泰朗	44	38	82	
吉村金男	43	48	91	
井草茂	40	44	84	
小沢清水	40	46	86	
鹿庭一郎	39	39	78	
高安信行	40	37	77	
鹿庭茂	39	44	83	
岸本茂	39	38	77	

### 8位 緋ヶ崎カントリー倶楽部 得点494

氏名	アウト	イン	合計	順位
茂入俊雄	42	45	87	
井上朗	44	40	84	
浜田桂	43	41	84	
保根男	42	41	83	
小出一尤	41	42	83	
佐久間義雄	43	40	83	
山田英夫	39	38	77	
矢野博	41	42	83	

### 4位 大岡チサンカントリークラブ 得点486

氏名	アウト	イン	合計	順位
大島義治	42	41	83	
木本武	43	38	81	
六木清	43	43	86	
若林俊	39	49	88	
小川透	35	40	75	
吉田幸雄	40	42	82	
千野清十郎	40	43	83	
田中浩	40	39	79	

### 9位 大森海国際ゴルフクラブ 得点495

氏名	アウト	イン	合計	順位
岡崎克己	44	41	85	
早瀬亮	42	44	86	
佐々木萬堂	42	43	85	
夏目利夫	46	40	86	
秋山市朗	38	39	77	
井端和生	42	38	80	
高橋実	41	45	86	
山本明	41	41	82	

### 5位 横浜カントリークラブ 得点487

氏名	アウト	イン	合計	順位
山口梅吉	40	41	81	
土井頼嗣	38	46	84	
伊藤喜好	48	43	91	
佐藤正年	42	42	84	
陳保田利裕	42	38	80	
森山茂雄	37	40	77	
中田次郎	42	39	81	

### 10位 武藏カントリークラブ 得点496

氏名	アウト	イン	合計	順位
新井安寿	41	44	85	
尾間秀夫	44	44	88	
宮本忠志	46	45	91	
斎藤友宏	41	48	89	
浅川辰彦	38	39	77	
森永正徳	36	39	75	
水田真一	40	42	82	
山口現朗	39	49	88	

### 15位 フォレストゴルフクラブ 得点501

### 14位 大利根カントリークラブ 得点501

### 19位 東名厚木カントリー倶楽部 得点507

### 24位 筑波カントリークラブ 得点513

### 25位 宇都宮カントリー倶楽部 得点508

### 20位 宇都宮カントリー倶楽部 得点508

### 26位 伊香保カントリー倶楽部 得点517

### 21位 高根カントリー倶楽部 得点509

### 22位 小田原湯本カントリークラブ 得点512

### 27位 長岡カントリークラブ 得点524

### 28位 長野カントリークラブ 得点527

### 29位 信州丸子高原カントリー倶楽部 得点528

### 30位 伊香保国際カントリー倶楽部 得点530

## 昭和60年度関東ジュニアゴルフ選手権競技

### 予選

●期日 7月23日(火)～25日(木) ●コース ノーザンカントリークラブ錦ヶ原 ●参加者 男子の部957名、中学男子の部138名、女子の部93名

### 決勝

●期日 7月31日(水)～8月1日(木) ●コース 武藏カントリークラブ笹井コース ●参加者 高校男子の部178名、中学男子の部19名、女子の部14名

今年のジュニア選手権で一番驚かされたのは、最終日の最終ラウンドで西川哲(日体荏原高2年)のマークした67ストロークのコース・レコードだった。それまでのコース・レコードは昭和44年に森永正隆(武藏)の出した68。それ以来、数多くの有名なアマチュアがプレーして破れなかった68ストロークの壁を、事もあろうに高校2年のジュニア選手が、16年振りにいともかんたんに書き替えたのだから、正に驚きだった。身長174cm、体重55kg。どちらかといえばヒヨヒヨとした頼り無さそうな外見だが、これでドライバーを持たせれば、軽く240mから250mをカッ飛びすロング・ヒッター、469mの1番ホールと474mの8番ホールとともにイーグルをものにする



高校男子の部優勝西川選手。



高校女子の部で優勝した須賀選手の力強いティショット。

るという超大型振りを發揮してアウトを4アンダーの32、インは3パー・ディー・2ボギーの35にまとめて5アンダー・パー67のコース・レコードを樹立してしまったのである。

1日目の第1ラウンドから4つのロング・ホールのうちの3ホールでパー・ディーを稼いで2アンダー・パーの70でトップに立った西川は、第2ラウンドもロング・ホールで3パー・ディーを出しながら、4ボギーを出して1オーバーの73とややもついたものの、この時点で2位の野上浩一(埼玉栄高3年)に6ストロークの差をつけていたが、この最終ラウンドの67ストロークのコース・レコードで2位との差を10ストロークと広げ、通算6アンダー・パー210ストロークで初優勝をとげた。この6アンダーのスコア自体、アマチュア界のトップをおびやかすに足りるスコアであり、今更ながらにジュニア・ゴルファーの目覚ましい成長振りを見せつけられた思いがした。

なお女子の部では須賀みお(日体桜華高2年)が79ストロークで、また中学男子の部では、加藤雅成(蘇我中3年)が75ストロークでそれぞれ初優勝を

とげた。

このようにジュニアのレベル・アップは目覚しいものがあり、またジュニア選手権への参加者も急増して、本年度の参加者総数は軽く1,200名に達した。このため、予選は会場であるノーザン錦ヶ原の36ホールを借り切ってそれぞれ午前と午後に分けて18ホール・ストローク・プレーを実施しているが、参加選手のレベルは向上しているとはいえ、中にはゴルフ・コースをラウンドするのが2～3回目という完全なビギナーも交っているため、プレーが長びき、予選が連日、日没ぎりぎりまでかかってやっと終了させている状態になって来たことには一考を要しよう。

途中で雷雨にでも遭遇して競技が一時中断でもされば、たちまち競技不成立になりかねない。

といって確たるハンディキャップも持ち合わせのないジュニア選手では、参加資格による制限もなかなか難かしい。

参加したいジュニア選手は出来るだけ出場させて

やりたいのは山々だが、それでは選手権そのものの順調な運営を望めなくなるというジレンマに陥入ったわけである。

年々、盛大になって来たジュニア選手権だが、こらで運営その他を抜本的に見直す時期に来ているようだ。



整然と並んで表彰式を行う選手団。これも教育の一環。



関東ジュニア選手権で優勝した、加藤(左)、西川(中)、須賀の各選手。

# 競技

## 昭和60年度関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

(高校男子の部)

順位	氏名	学校名/学年	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			合計
			O	I	計	O	I	計	O	I	計	
1	西川 哲	日体荏原 (2)	34	36	70	38	35	73	32	35	67	210
2	野上 浩	埼玉栄 (3)	36	39	75	37	37	74	37	34	71	220
3	伊沢光 光	日体荏原 (3)	36	35	71	41	38	79	36	37	73	223
4	深澤圭一郎	明大中野 (2)	39	38	73	39	38	77	37	37	74	224
5	日野琢磨	日大 (1)	37	37	74	39	38	77	39	37	76	227
6	中山泰志	横浜 (2)	39	39	77	38	37	75	36	40	76	228
7	丸山樹樹	日体荏原 (1)	36	40	76	40	39	79	36	38	74	229
8	小達敏昭	関東学院 (3)	39	39	78	37	39	76	39	37	76	230
9	杉沢五一郎	崎 (3)	38	42	80	38	37	75	39	38	77	232
10	杉藤直也	成蹊 (3)	36	39	75	39	39	78	38	41	79	232
11	飯塚信太郎	日大 (3)	38	39	77	41	36	77	39	40	79	233
12	江達 志	日大桜丘 (2)	40	38	78	41	36	77	38	41	79	234
13	中川利一	明大中野 (1)	39	41	80	42	35	77	37	40	77	234
14	三代健次	日体荏原 (2)	39	39	78	41	39	80	36	40	76	234
15	佐藤英明	日体荏原 (2)	37	39	76	41	38	79	41	39	80	235
16	斎藤友直	鳴山 (3)	40	43	83	36	37	73	40	40	80	236
17	大槻史太郎	土浦日大 (3)	40	37	77	36	41	77	41	41	82	236
18	萩原善雄	日大二 (3)	39	41	80	38	39	77	40	40	80	237
19	下向英一	渡辺洋 (2)	38	42	80	37	41	78	39	40	79	237
20	石川淳一	日大黒 (1)	42	42	84	39	40	79	37	38	75	238
21	毛塙佳寿	明大中野 (3)	39	39	78	38	37	75	42	44	86	239
22	船 晋一	立正 (2)	40	42	82	38	37	75	41	41	82	239
23	神田賢志	越生 (3)	41	39	80	42	40	82	38	39	77	239
24	岡田光立	立教 (3)	42	38	80	38	38	76	41	42	83	239
25	山崎宏治	専大附属 (3)	40	40	80	38	41	79	37	43	80	239
26	大熊章	埼玉栄 (3)	40	38	78	41	42	82	37	43	80	239
27	阿久津英司	目黒 (1)	40	39	79	39	40	79	41	41	82	240
28	行徳健洋	成蹊 (3)	38	36	74	41	44	85	40	41	81	240
29	山田雄二	明大中野 (3)	41	40	81	38	37	76	42	41	83	242
30	高橋史幸	立教 (4)	40	41	81	41	40	81	40	40	82	242
31	塚田好実	京大 (3)	40	37	77	36	41	77	41	41	82	243
32	山崎宏治	専大附属 (3)	40	40	80	38	41	79	37	43	80	243
33	大熊章	埼玉栄 (3)	40	38	78	41	42	82	37	43	80	243
34	鈴木忠和	神戸大 (3)	43	39	82	45	43	79	41	41	82	243
35	國分泰幸	慶應義塾 (3)	42	41	83	42	39	81	40	40	80	244
36	小林溢生	専大附属 (3)	44	39	83	42	41	83	40	38	78	244
37	池田文士	法政大第二 (2)	40	39	79	40	44	84	39	40	79	244
38	鈴木恵和	神戸大 (3)	43	39	82	45	43	79	41	41	82	245
39	国分泰幸	慶應義塾 (3)	42	41	83	42	41	83	39	39	77	245
40	金子雄弥	越生 (3)	40	43	83	35	44	79	42	41	83	245
41	杉山和久	島田商 (3)	40	40	80	43	40	83	38	44	82	245

(中学男子の部)

順位	氏名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	加藤雅成	蘿井 (3)	39	36	75
2	宮内康二	黒目立第六 (3)	40	41	81
3	西仁	原市 (3)	43	39	82
4	佐々木博文	大貫 (2)	40	42	82
5	高橋博樹	寺尾 (3)	40	43	83
6	横田真一	双葉台 (2)	39	44	83
7	佐藤貴士	久慈 (3)	44	40	84
8	桑原佳雄	富士 (3)	43	43	86
9	高田光章	甲ノ原 (3)	40	46	86
10	吉野正康	高島第三 (3)	45	41	86

(女子の部)

順位	氏名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	須賀みお	日体桜華高 (2)	40	39	79
2	木村敏美	堀越高 (2)	39	43	82
3	春道都子也	松由里子 (2)	42	40	82
4	久松由里子	堀 美栄 (2)	40	44	84
5	九谷京子	大宮武藏野高 (2)	41	44	85
6	金岡由利子	日大桜丘高 (3)	43	42	85
7	小久保由美	稻谷玉井中 (2)	43	43	86

## ルール Q&A

Q-1 次のストロークを免除(コンシード)されなければ、その球はイン・プレーである。

クラブ選手権のマッチ・プレーでのことですが<sup>5</sup>、ミドル・ホールの12番で2オンしたAに対し、3オンしたBが<sup>6</sup>バットでバーを取りました。その後、Aが第3打のバットが惜しくも外れてカップの右30cmに止りました。それを見たBはさっさと13番のティー・グラウンドの方へ歩き出しました、OKされたものと思ったAはその球を拾い上げて13番のティーに向い、その後のプレーを続けました。

そして、いよいよ勝負の総決算をするため、17番で勝ちホールと負ホールのチェックをしたところ、Bは「12番はOKしてないのに球をピックアップしたから私の勝だ」と主張します。言われてみればAも「OK」はされていなかったなと思い当たりましたが、なんとも駄目としません。

この場合、クレームをつけるとしたら次のティー・ショットをする前にはっきりしておかねばいけないのでないでしょうか。

AはBから次のストローク(第4打目)短いバット)を免除されていないので、その球はイン・プレーです。それを免除されたと思い込んで拾い上げたことは規則によらない拾い上げとなりますから、1打の間を受けてリプレースしなければならない状態となりました。従って、Aはそのホールの負けとなるわけです。

Bはそのようなことを期待して故意に行ったのであれば、誠にスポーツマンシップに欠けた歎かわしいゴルファーですが、Aも自分の手落ちを反省する必要があります。残念ながら、この場合AはBに対してクレームできる要件がありません。

Q-2 他人のドライバーを誤って使用しても、ティ・ショットの球はイン・プレーである

或るホールでAがドライバーを使ってティ・ショットをし、球は右のラフに飛びました。次にBがティ・ショットしようとして、ドライバーが間違っていることに気がつきました。同じメーカーのクラブだったために、AがBのドライバーを使っていたことがわかったのです。

この指摘を受けたAは改めて最後から自分のドライバーを使って、ティ・ショットを打ち直しました。

そして第2打の地点に行ったAは、ラフの中の最初の球を拾い上げ、フェア・ウェイにあった二度目の球を打ってグリーンに乗せました。

ところが一緒にまわっていたCから「どっちの球が正球かはっきりしないから、最初の球もプレーしておいた方がいいよ」と忠告され、Aは最初の球のあったラフに戻って球をドロップし、これも打って行きました。この場合はどちらが正球になるのか、又ペナルティはいくつかをお教え下さい。

Aが誤ってBのドライバーでティ・ショットをしても、その球はイン・プレーとなります。しまったと思って自分のドライバーで打ち直したならば、その球がストロークと距離の間を受けてイン・プレーとなり、初めの球はプレー外の球と化します。Aが続いて2度目の球を打ってグリーンに乗せたことは、正しい処置でした。

その後、Cから「どちらが正球か解らないから」と言われ、「ストローク・プレーの疑わしいときの処置(規則3条3)」をとったことは誤っていませんでしたが、前述の通り2度目のティ・ショットの球が正球となり、そのホールのスコアとなります。2度目のティ・ショットはストロークと距離の間を受けた打ち直しですから、ティから3打目のプレーとなります。

Q-3 初めの球があると思われる場所よりホールに近い所から暫定球をプレーすると、暫定球がイン・プレーとなり、初めの球は粉失球と化す

プレーヤーAがティ・ショットを打ったところ、ボールは強烈なフックとなって左の林の方向へ飛びました。林の奥にはOBラインもあるので、Aは「暫定球を打ちます」と宣言、打ち直しの第2の球は快心の当りでフェア・ウェイの中心に飛びました。Aは「どうせ最初の球はOBだろうから探さなくともいいよ」といながらフェア・ウェイの暫定球を打ってしまいました。ところが念のため最初のボールを探しに行ったキャディが、暫定球の第2打を打った

## ルール Q&A

はるか手前でインバウンドにある球を発見しました。これを聞いた同伴プレーのBは「規則27条2cでは、こういう場合暫定球を放棄して初めの球をプレーしなければならず、暫定球をボールのあった地点よりはるかに越えた地点でプレーしたのだから、誤球のペナルティを払って最初の球を打ち直し」と主張します。ところがAは「規則27条2bでは初めの球があると思われる地域より、ホールに近い地点から暫定球をプレーした場合は、初めの球は紛失とみなされ、暫定球はストロークと距離の罰のものにイン・プレーの球となるとあるから、打ち直しの必要はない」と主張します。

さて、この場合はどちらの処置をとるべきでしょうか。

**A-3** 質問の状況では、Aは初めの球があると思われる場所よりホールに近い所から暫定球をプレーしましたから、その暫定球がイン・プレーとなり、その球でプレーを続けなければなりません。初めの球は規則27条2bで述べられている如く紛失球と化しております。

同伴競技者Bは暫定球を放棄する場合(規則27条2c)と暫定球がイン・プレーとなる場合(規則27条2b)を取り違えていたようです。Aの主張は正当でした。

**Q-4** 自分でつけたグリーン面のスパイクの傷を直すと、同伴競技者のプレーの援助となるか  
5番ホールでのことですが、あまり調子の良くなかったAがやや長いバーディ・パットを決めました。派手にガツツ・ポーズを取ったAは、小踊りするような足どりでカップに近づき、ボールを拾い上げましたが、その時、スパイクで小さいながらグリーンに傷をつけてしまいました。

ところが次にBが打つパッティング・ラインにちょうどその傷がかかるため、BはAにその傷の修復をするように頼みましたが、Aは自分で傷つけたかどうかわからないので、直して良いものかどうかに迷ってしまいました。

こういう場合、Aが自分の作った傷だからと修理するのは無理なのでしょうか。また、BがAに頼んで直してもらっても良いのでしょうか。

**A-4** 質問の状況で、もしBがいなかったならば、エチケットとしてAがつけたスパイクの傷を即座にパターで圧えて平らにするでしょう。たまたまその傷がBのパットと線上となつたので問題となつたようですが、この様な場合に限つて、委員は公正の理念に基いて規則1条2(球に影響を及ぼす行動)に優先してスパイクの傷をAが直すことを認めてよいと思われます。

**Q-5** アマチュア復帰の手続きはどうしたらよいか

アマチュア資格について質問します。私のクラブに昨年暮までプロ研修生としてプロ・テストを受験していた人が入会して参りました。昨年のプロ・テストを失敗してプロになることをあきらめ、今後はアマチュアとして、いろいろな競技に出たいと希望しているのですが、アマチュア復帰の手続きが必要ではないかと思います。

つきましては、この元研修生がアマチュアに復帰するについてしなければならない事とか、復帰するにはどんな手続きが必要か、また用意しなければならない書類等をお知らせください。

**A-5** アマチュア定義に違反してアマチュア資格を喪失している者が、アマチュア復帰を希望するときは、アマチュア定義に違反している行為を中止した日から2年間連続してアマチュア定義を遵守した後で、下記の書類を日本ゴルフ協会規則及びアマチュア資格審査委員会へ提出して、審査を受けることができます。

### ——記——

- 1.本人のアマチュア復帰申請書
- 1.本人の履歴書(職歴は特に明細に)
- 1.所属俱楽部代表者の、本人がアマチュア定義を連続して遵守している事の証明書

以上

## 理事会・委員会

加盟俱楽部殿 昭和60年9月12日  
関東ゴルフ連盟 理事長 細川護貞  
60年度第4回理事会議事録  
60年度第4回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和60年9月12日(木)正午  
場 所 ホテルニューオータニ  
出席者 細川理事長、武内副理事長、相山、藤原、福田彰、勝又、木村、古茶、古賀、松浦、森井、中井、大槻、斎藤、佐藤各常務理事、青木、福田富市、浜口、河西、川村、北村、小宮山、小山、小林金太郎、松本、大坪、竹井、山崎、山本、吉沢各理事、及び岩本監事

### ——決議事項——

#### 1. 関東オープンゴルフ選手権報告の件

細川理事長より本年度の関東オープンゴルフ選手権大会が無事終了したとの報告と、開催クラブの飯能ゴルフクラブのご協力に対する謝意の表明があり、統いて武内副理事長より天候にも恵まれたばかりでなく、飯能が場所的に便利なこともあって入場料金の値上げ等があったにもかかわらず入場者が非常に多く、4日間の入場者総数が1万5千人近くに達し、大会としては大成功を収めたこと、及び収支を心配された飯能ゴルフクラブからの提案により、本年度からキリンビール株式会社が3年契約で特別協賛することとなり、2千5百万円の提供があったため、昨年度以上に余裕のある収支になる見込みであるとの報告があり、全員異議なくこれを了承した。

#### 2. 50周年記念行事の件

武内委員長より、50周年記念実行委員会を2つの小委員会に分けてそれぞれ分担検討を続けて来たが、50年史の作成については、戦前戦後の混乱のためか、戦前の資料がほとんど無いと同じくらい少ないため、完全なものとはいえないが、各クラブの資料を集め出来る限りの正確を期しており、戦後に関しては連盟に十分な資料も揃っているので編集の作業も順調に進んでいること。及び、年史はB5版変形(タテ20cm短かいもの)で200頁弱の本

になり、10月発刊の予定であるとの説明があり、全員これを了承した。

次に50周年記念競技については横浜カントリークラブのご協力により、10月29日に横浜で開催することになったが、横浜もちょうど25周年に当るということなので、できるだけ盛大な大会に盛り上げたいと考えていること、また当日参加者に対する記念品は委員会でも種々検討したが、予算でどうしてもこれといった記念品を作製することが難かしいので、記念品にかわり、おみやげとして50周年の記念文字を入れたカステラを用意し、そのかわりに競技当日の賞品を考慮することにしたこと、及び招待者については加盟各クラブより代表者を1名、歴代理事長や、4年以上在籍したKGAの元常務理事、それに報道関係の代表者等で合計460名になると説明があり、これも全員異議なく承認可決した。

なお、50周年の記念品は岩田硝子特製のガラス壺と決ったが、出来上り次第、各クラブに直送する予定との説明があり、これに対する挨拶文、及び招待状についても全員これを了承した。

#### 3. 61年度競技日程の件

細川理事長より、別添日程案にもとづいて説明があり、未定の俱楽部対抗決勝競技、及び関東オープンゴルフ選手権競技に関しては、コース選定委員会での選定を待つて決めることとした。

#### 4. 競技委員会提案事項の件

中井競技委員長より、俱楽部対抗予選のキャブテン会議については、明年度より各県毎に地元でキャブテン会議を開催することになっているが、その開催場所や日時等は担当の競技委員長と開催クラブとで相談の上、取決めもらうようにしたいこと、及び関東ジュニアゴルフ選手権はトップの選手は6アンダーの66ストロークをマークするほど、技術の向上も目覚しいものがあるが、予選に出て来る選手の中には180ストローク近くも大叩きする者もあり、これらの何人かが予選の運営を阻害しており、今年は天候に恵まれたため、なん

# 理事会・委員会

とか日没前に終らせることが出来たが、一度雷雨にでも見舞われたら競技不成立になります。状態のため、何らかの制限を設ける必要があるということ、委員会でも種々討議したが、結局、ジュニア選手権はKGAとスポーツニッポン新聞社、及び関東高等学校ゴルフ連盟との三者共催になつていているため、最終的にはこの三団体の話し合いによって決定することにしたので、ご了解願いたいとの説明があり、これも全員異議なく了承した。

## 5. その他

### カーボン・アイアンクラブの件

武内副理事長より、カーボン・ヘッドのアイアンクラブについてはR&Aの裁定が出るまでは使用することを認めていたが、このほどR&Aとのやりとりで大体の結論が出され、

ヨネックス A型 不適合

ヨネックス B型 適合

ダイワ 不適合

となったが、いずれにしても競技場の現場でA型、B型、または適合、不適合の判定は難かしくなるので、日本ゴルフ協会としては10月1日以降、JGAの主催競技ではすべてのカーボン・ヘッド・アイアンの使用を禁止することになった旨の説明があった。

次回理事会 昭和60年11月20日(水)正午  
於：ホテルニューオータニ  
以上

## 昭和61年度関東ゴルフ連盟競技日程表

月	日	曜	競技名	開催コース
5 12	月	関東女子選手権 予選	第1ブロック 第2ブロック 習志野(クイーン)	日本C.C.
5 19	月		第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック 第4ブロック 第5ブロック	桜ヶ丘 小川 富士小山 一の宮 浅見
5 20	火	関東アマチュア 選手権予選		
5 21	水			
5 28	水	関東女子選手権決勝		柏
5 29	木			
6 2	月			
6 3	火			東京地区
6 2	月			埼玉地区
6 3	火			千葉地区
6 2	月			神奈川地区
6 3	火			茨城
6 3	火			第1地区
6 3	火			第2地区
6 3	火			栃木
6 3	火			第1地区
6 5	木			高崎KG
6 5	木			群馬地区
6 4	水			伊豆にらやま
6 10.9	金			信州塩尻高原
6 10.9	金			新潟地区
61.6	10	火		フォレスト
61.6	11	水	関東アマチュア選手権決勝	筑波
61.6	12	木		
6 30	木	関東俱楽部対抗決勝		未定
7 22	火	関東ジュニア選手権予選		ノーザン錦ヶ原
7 23	水			
7 24	木			
7 30	水	関東ジュニア選手権決勝		武藏(笠井)
7 31	木			
9 4	木			
9 5	金	関東オープン選手権		未定
9 6	土			
9 7	日			
9 8	木	関東シニア	第1ブロック	足柄森林
9 9	火	選手権予選	第2ブロック	取手新日本
9 30	火	関東シニア選手権決勝		箱根
10 1	水	関東グランド・シニア選手権		東京
10 22	水			

## 月例競技成績表

[60年7月月例] 参加：男子115名 7月17日水 於：霞ヶ関カントリー倶楽部(東コース)

(男子)

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
			アウト	イン	アウト	イン	
1	高安信行	セントラル	36	37	73	39	148
1	堀越栄治郎	相模原	39	41	80	36	148
3	安藤功	東名	40	38	78	37	149
3	鹿瀬一郎	セントラル	38	39	77	36	149
3	加藤達也	日大	38	36	74	36	149
3	鷲田恵人	青梅	35	36	71	38	149
3	松田守功	習志野	38	40	78	36	149
		(以上入賞)					
8	浅川辰彦	武藏	38	37	75	37	150
8	大山四郎	鎌ヶ谷	37	37	74	40	150
8	川岸良兼	日大	37	35	72	38	150
8	中村清	戸戸	35	40	75	35	150
8	中山章	日大	38	37	75	37	150

コース・レート 73.0

(注) 高安信行・堀越栄治郎氏はタイ・スコアの為8月月例にてプレー・オフを行ないます。

参加：女子56名 7月12日金 於：総成カントリー倶楽部

(女子)

順位	氏名	クラブ	東	南	西	合計
1	渡辺恵子	高根	37	39	38	114
2	吉沢キミ子	セントラル	36	39	41	116
2	石井梨香	日大	38	38	40	116
		(以上入賞)				
4	猪股美恵子	上総富士	41	38	40	119
4	佐川治子	東京国際	40	36	43	119

順位	氏名	クラブ	東	南	西	合計
6	中村友美	東千葉	39	37	44	120
6	谷口典江	河口湖	42	41	37	120
8	原田香里	日大	38	39	44	121
9	鈴木エツ	大秦野	38	42	42	122
9	小畠登代子	習志野	39	42	41	122

コース・レート 東南 67.4 南西 66.8

[60年8月月例] 参加：男子77名 8月20日火 於：我孫子ゴルフ倶楽部

(男子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	鹿瀬一郎	セントラル	33	33	66
2	柴田良三	東京よみうり	35	37	72
2	新村ヨシオ	千葉	37	35	72
2	室伏健二	東名	34	38	72
5	岡田光正	嵐山	36	37	73
5	原徹雄	東名厚木	36	37	73
5	堀越栄治郎	相模原	38	33	+2 73
		(以上入賞)			
8	小川透	岡部チサン	39	35	74
8	佐藤友久	唐沢	40	34	74
8	佐野義則	富士宮	37	37	74
8	志村幹夫	大洗	36	38	74
12	奥延通康	茨城	40	35	75
12	大作清春	千葉	41	34	75
14	五十嵐唯郎	東京五日市	37	39	76
14	竹林守	浅見	37	39	76

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
14	馬場務	佐野	38	38	76
14	前川武英	成田ハイツリー	38	38	76
14	宮本清	小川	37	39	76
20	森永正隆	武蔵	37	39	76
20	安藤功	東名	38	39	77
20	加藤家光	甘崎	40	37	77
20	佐久間義雄	姫崎	39	38	77
20	桜井聖士	真名瀬	40	37	77
20	橋本隆	千葉	41	36	77
20	得能三郎	柄木	38	39	77
20	中野弘治	美善	36	41	77
20	根本太満	戸戸	40	37	77
20	松井満	温泉	36	41	77
20	森井茂男	立川国際	37	40	77
20	吉田八郎	府中	38	39	77

コース・レート 72.3

(注) 7月月例プレー・オフの堀越栄治郎、高安信行氏は、堀越栄治郎氏が優勝しました。

参加：女子46名 8月9日金 於：鎌ヶ谷カントリークラブ

(女子)

順位	氏名	クラブ	東	中	西	合計
1	紀村多栄	富士平原	37	40	39	116
2	渡辺恵子	高根	42	42	34	118
3	尾閑久江	武藏	41	38	40	119
4	近藤信子	富士ロイヤル	40	43	38	121
5	鈴木エツ	大秦野	42	38	43	123

順位	氏名	クラブ	東	中	西	合計
5	吉沢キミ子	セントラル	40	42	41	123
7	青木英子	船橋	45	41	38	124
7	坂塚順子	船橋	41	41	42	124
9	中村静江	東千葉	42	43	40	125
10	小出義樹	千葉国際	42	43	41	126
10	齊藤美樹	甘楽	43	45	38	126

コース・レート 東・中 70.1 中・西 69.6

# コース・レート

●昭和60年7月20日決定

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
信州駒ヶ根カントリークラブ（7月3日査定）			70.8	68.8
セントラルゴルフクラブ（7月19日査定）				
東コース	73.3	71.2	73.6	71.4
西コース	70.7	69.0	70.9	69.1

クラブ名	A Green		B Green	
	Back	Reg	Back	Reg
紫塚ゴルフ倶楽部（7月23日査定）				
氏家・葛城	71.8	70.0	71.0	69.2
葛城・早乙女	70.9	69.8	70.0	69.0
早乙女・氏家	71.3	69.7	70.6	69.0

クラブ名	Main Green		Sub Green	
	Back	Reg	Back	Reg
長岡カントリークラブ（8月30日査定）				
東・西コース	72.3	69.0	70.0	67.6
西・南コース	71.7	69.4	70.0	67.8
南・東コース	71.4	69.1	69.9	67.6

## ●コース・レート査定スケジュールの件

(1)狭山ゴルフクラブ

10月18日㈮

(2)スカイウェイカントリークラブ 11月6日㈯

## お知らせ

### クラブ代表者変更のお知らせ

クラブ名	クラブ代表者
駒ヶ根カントリークラブ	濱崎 久男 位上 謙一
湯河原カンツリー 倶楽部	(新)天野 寛治 (新)岡田 秀雄 (旧)高木 進 (旧)天野 寛治
葉山国際カンツリー 倶楽部	片岡 秀子 鵜野 明雄
甘楽カントリークラブ	(新)菅谷 秀夫 秋本 正夫
小金井カントリー 倶楽部	(新)出光 計助 (新)堀 正彦 (旧)佐藤 和雄 (旧)角 実

### クラブ名称変更

(新) パークレイカントリークラブ  
(旧) 今市ゴルフ倶楽部

### 倶楽部電話番号変更のお知らせ

千葉カントリー倶楽部 (新) 0471-22-1100 梅郷コース

### 理事長変更のお知らせ

富士レイクサイドカントリー倶楽部	(新) 植谷 久三 (旧) 空席
湯河原カンツリー倶楽部	(新) 天野 寛治 (旧) 高木 進
神奈川カントリークラブ	(新) 平井 守 (旧) 空席
東名厚木カントリー倶楽部	(新) 町田 直 (旧) 安倍晋太郎
葉山国際カンツリー倶楽部	(新) 片岡 秀子 (旧) 空席
小金井カントリー倶楽部	(新) 出光 計助 (旧) 空席
甘楽カントリークラブ	(新) 菅谷 秀夫 (旧) 山田 繁夫
江戸崎カントリー倶楽部	(新) 矢野 範二 (旧) 今里 廣記